

人と自然の共生懇話会

# 自然共生社会と 新たな地域づくり

東京大学大学院農学部生命科学研究科教授  
サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 副機構長  
武内 和彦




2011年12月19日(月)TKB赤坂ツインタワーカンファレンスセンター

## 持続型社会と自然共生社会

- 21世紀環境立国戦略(2007年閣議決定)で、**低炭素社会**、**循環型社会**、**自然共生社会**の統合による持続可能な社会を提唱
- 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)で採択された「**愛知目標**」の長期目標は「**自然と共生する世界の実現**」となる
- 東洋的自然観に立つ自然共生社会の概念には、先進国の批判もあったが、アフリカなど多くの開発途上国が積極的に支持
- COP10では環境省と国連大学が提唱した**SATOYAMAイニシアティブ**が採択され、**国際パートナーシップ(IPS)**が創設される
- SATOYAMAイニシアティブは、生物多様性条約の第二の目的である「**生物資源の持続的利用**」の理念を具体化するもの

持続可能な社会の実現



3社会像

- 低炭素社会: 二酸化炭素排出量を飛躍的に削減する
- 循環型社会: 生産と再資源化を統合した循環の輪をつくる
- 自然共生社会: 健全な農林業の振興により生物の豊かな環境をつくる



IPSI発足式

## SATOYAMAイニシアティブ

- ・ 2000年に国連が提唱して始まった**ミレニアム生態系評価**のフォローアップとして世界各地でサブグローバル評価が
- ・ 日本でも、国連大学高等研究所(横浜)が中心になって、日本の里山と里海を対象にサブグローバル評価を実施
- ・ 主に過去50年間の**生態系サービス**の変化とそれが人間の福利に及ぼした影響を科学的に検証し、COP10でその成果を発信
- ・ 里山と里海をの概念を普遍化して、世界各地で展開可能な概念として「**社会生態学的生産ランドスケープ**」を提唱
- ・ 国際アグロフォレストリーセンターが展開する「**アグロフォレストリー**」の考え方も共通性が高く連携が模索される



里山



里海 (Japan SGA, 2010)

3

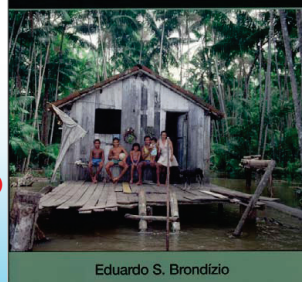
## 自然資本と新たなビジネスモデル

- ・ スタンフォード大学のグレッチェン・デイリーらが、**自然資本**を重視した新しいビジネスモデルの重要性を指摘
- ・ これまでの画一化による大量生産方式に代えて、**多様性を維持しつつ高付加価値を追求するビジネスモデル**が必要
- ・ 開発で荒廃したアマゾンにアグロフォレストリーの方式で再生したトメヤスの日系ブラジル人の成功はその一例
- ・ 多様性を生かすために、**さまざまな企業の参画**が必要であり、それらがネットワークを形成することが成功の鍵
- ・ こうした考え方は、衰退の著しい**日本の農林水産業の再生**の基本方向にもなり得るのではないかと考えられる



デイリー教授  
(スタンフォード大学)

The Amazonian Caboclo  
and the Açai Palm  
Forest Farmers in the Global Market



Eduardo S. Brondizio



アサイー商品

4

## 佐渡と能登が世界農業遺産に

- ・ 国連食糧農業機関(FAO)が、これまでの農業生産性向上一辺倒から、**伝統的な農法を生かした取り組み**も奨励するように
- ・ 世界重要農業遺産システムGIAHES (**世界農業遺産**)として、主に途上国の伝統的農業システムを認定
- ・ 世界農業遺産では、伝統的な農法を保全するにとどまらず、それを新たなビジネスモデルにつなげていくことが重要
- ・ 2011年6月、**トキと共生する佐渡の里山、能登の里山と里海**が、先進国としては初めて世界農業遺産に認定される
- ・ 両地域とも、佐渡の朱鷺と暮らす郷づくり認証米、能登の揚げ浜製塩法など、**高付加価値型のモデル**を目指す



能登の千枚田



佐渡の認証米  
【朱鷺と暮らす郷】

(佐渡市提供)



5

## リオ+20とグリーンエコノミー

- ・ リオ+20で討議されるグリーンエコノミーは、ビジネスにおいて**持続可能な開発の主流化**が可能かを問うもの
- ・ **自然資本を損なわず、貧困の削減を可能とするようなビジネスモデル**の追求は、自然共生社会づくりと合致
- ・ ベトナム沿岸部では、**マングローブ**を破壊するエビの養殖場に代え、マングローブを保全しつつ漁業を営む方式が注目される
- ・ 北部ガーナの半乾燥地域では、環境変動に対する耐性をもつ **Sheaの木**を利用した製品で貧困緩和を目指す
- ・ こうした新たなビジネスモデルは、**気候・生態系変動に対するレジリエンスの強化**にも大きく貢献



ベトナム  
湿地帯

マングローブ林を残した漁業



Sheaの実取引の様子

Sheaの木

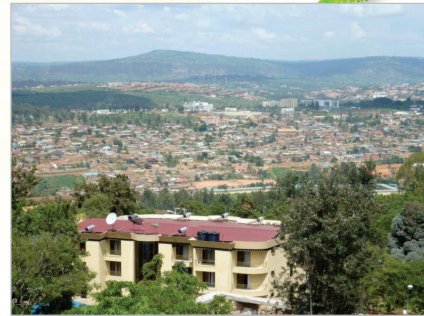
Sheaバター製品



6

## アフリカの奇跡と自然共生社会

- 1994年に大量虐殺があったルワンダは、新たな産業を創出して「**アフリカの奇跡**」と呼ばれる
- 首都ギガリ郊外の農村を訪れ、農民、兵士、NGO、市民などが大勢集まった**植樹祭**に参加
- 地方やセクターごとに植樹祭を実施。参加者数は、総人口1千万人のうち数百万人に達する
- 森林面積率を高めるとともに、多様な植生の再生を通じて生物多様性の回復を図る
- **失われたコミュニティの再建**にも大きく貢献し、地域に住む人々にさまざまな恩恵を与える



連なる丘に市街地が広がるキガリの風景



植樹祭の風景（キガリ郊外の農村にて）



7

## リング・オブ・ファイアーと自然共生社会

- ❖ リング・オブ・ファイアーは、風光明媚な自然の豊かさを私たちに提供
- ❖ しかしその一方で、突如として人々に猛威をふるう自然災害をもたらす
- ❖ 私たちは、**自然の恵みと脅威の両面**とつきあっているという認識が重要
- ❖ 自然災害を工学的な技術のみで防ぐことには限界があるとの認識が定着
- ❖ 自然災害を柔軟に受けとめる**レジリエントな自然共生社会**の構築を目指す

十和田八甲田火山群のようす



睡蓮沼から北八甲田連峰



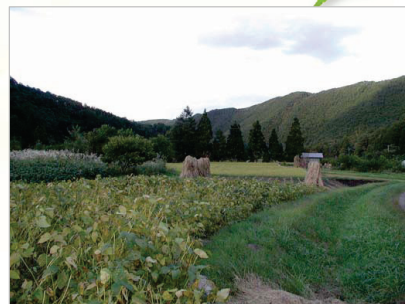
工学的対策には限界も



8

## 震災復興と自然共生社会

- 東日本大震災の被災地の復興を考えるうえで、**農林水産業の産業としての再生**はきわめて重要な課題
- これまで個別に扱われてきた、林業、農業、水産業、観光などを有機的に組み合わせた**複合地域産業化**が求められる
- 農林水産業従事者に加え、行政、企業、NPO、都市住民など異なるステークホルダーの参画による**共同管理の仕組みづくり**
- 林業では、地域材の活用を推進するとともに、バイオマスのエネルギー利用を促進し、地産地消を進めるべき
- 被災地における複合的な地域産業の創造による震災復興は、これからの**日本の国土再生のモデル**にもなりうる



伝統を活かした農村風景（岩手県山根六郷）



伝統芸能の継承（岩手県山根六郷）



## 三陸復興国立公園創設

- 岩手県の陸中海岸国立公園を、青森県、宮城県の沿岸部にまで拡張するとともに、**震災復興に貢献する国立公園**を新設
- 海岸中心の国立公園から、里山と里海のつらなり、**森－川－海の連環**を取り戻すことに貢献する国立公園に
- 被災地の沿岸部の**脆弱な土地**は公園区域に編入し、積極的に**自然再生**することで、地域の付加価値を高める
- 沿岸部において南北を結ぶ**トレイル**、瓦礫を積み上げた**復興の丘**を整備し、災害時の避難経路・避難場所の機能を強化
- 三陸ジオパーク構想**と連携し、リアス式海岸の地形地質とともに、**大津波の記憶**を残した学びの場とする



「三陸復興国立公園」の範囲

(環境省自然環境局 提供)

「三陸復興国立公園」(仮称)



大津波記念碑



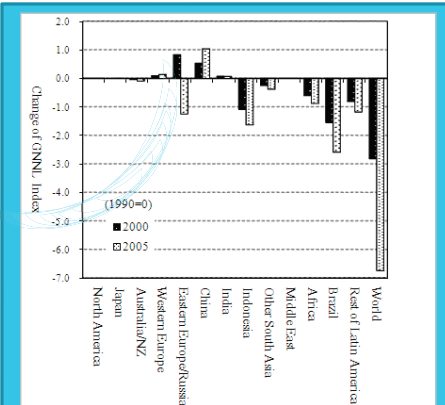
## 自然共生社会と持続可能な開発

- ・ 自然共生社会実現の観点からのグリーンエコノミーとは、**生物多様性や生態系サービスを損なうことなく経済成長すること**
- ・ 社会生態学的生産ランドスケープは、**エコロジーとエコノミーを融合させ、グローバル・ノーネット・ロスに貢献**
- ・ 2011年10月に設立される「**生物多様性と生態系サービスに関する政府間プラットフォーム**」(IPBES)でも重要な課題に
- ・ 自然共生社会を重視したグリーンエコノミーの推進は、途上国の**ミレニアム開発目標の達成**にも貢献
- ・ 震災復興においてグリーンエコノミーを積極的に展開するとともに、**リオ+20**をはじめ国際社会に発信すべき

緑に囲まれた都市



スリランカ・キャンディー



グローバル・ノー・ネット・ロス

(Sustainability Science Vol.6 No.2) 11

## 「国連生物多様性の10年」記念式典

- ・ 2011年5月22日に予定していた国連生物多様性の10年の記念式典を延期し、**震災復興支援シンポジウム**を開催
- ・ 石川県の谷本知事の協力を得て、**12月17・18日に金沢市で開催**(国連大学・条約事務局主催)
- ・ 経団連等と協力し、**生物多様性と企業の役割**に関するシンポジウムも開催予定
- ・ 世界農業遺産との連携による**自然資本を活かした新たなビジネスモデル**の提案と展開
- ・ この分野において日本がリーダーシップを発揮することを期待



奥能登の伝統的な塩田 (石川県珠洲市)



生物多様性年のクローゼイングイベント 12